

# ひまわり



令和3年5月24日(月)

## 慣れてはいけないコロナ慣れ



昨年の今頃は、得体の知れない新型コロナウイルスに、多くの人が危機感をもって対応していました。しかし、1年経った今では、コロナ慣れで危機感が薄れてしまった人も多く、感染予防対策が全体的に疎（おろそ）かになっています。これは、自分が感染するのではないか、というストレスから自分守るため、「自分は大丈夫だ」という心理（正常性バイアス）がはたらくことも一つの原因です。その結果、感染経路不明者は50%を超え、政府の対策分科会で示された爆発的感染拡大（ステージ4）に達した自治体が、12都道府県にもなりました。危機的状況であることを再認識する必要があります。

先週末、親交の深い沖縄県の先生から電話がかかってきました。沖縄県にも緊急事態宣言が発令されることになり、学習や学校行事に影響が出始めているとのことで、さまざまな情報交換をしました。

大阪市立の小中学校では、本日から通常授業となりました。皆さんの学びの保障という観点では良かったです。今後、コロナの影響で、何が起こるか分かりません。毎時間の授業を大切にしていきましょう。

しかし、2年生校外学習、3年生修学旅行が延期になってしまったことは残念でなりません。とりわけ、3年生修学旅行を、9月に実施できることを祈るばかりです。これからも、一人一人が意識をもって感染予防を継続していきましょう。学校内においては、教室の換気、頻繁な手洗い・手指消毒、マスクの着用、給食時の黙食が重要です。

最後に朗報を伝えておきます。日本は、新型コロナワクチン接種で、ヨーロッパやアメリカに大きな遅れをとっています。これまで、日本国内で承認されている新型コロナワクチンは、ファイザー製（アメリカ）のみでしたが、モデルナ製（アメリカ）・アストラゼネカ製（イギリス）も追加承認されました。アストラゼネカ製は、日本国内でも製造が始まりました。これにより、日本国内でのワクチン接種が大きく進む予定です。ワクチン接種が進めば、新型コロナウイルスの発症や重症化は抑えられます。

コロナ慣れしてしまった今だからこそ、感染拡大予防を強く意識する必要があります。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

